

資料

①個別の指導計画作成に関するセルフチェックリスト

②学習領域スキル別つまずきチェックリスト

③学力のつまずき要因

④個別の指導計画書式

(1. 長期目標と短期目標を対応させるタイプ)

(2. 教科で立てるタイプ 小学校用 / 3. 中学校用)

⑤その他の書式

(1. 日々の記録用紙)

(2. 作文の評価用紙)

個別の指導計画作成に関するセルフチェックリスト

「実態把握」

チェック項目	チェック
I 子どもがつまづいている領域を発見できたか(例: 国語の「書く」領域につまづきがある)	
II 子どもがつまづいている課題を発見できたか(例: 作文を書くことが難しい。短い作文になってしまう)	
III 子どもがどこまで習得しているかを把握できたか(例: 書字(漢字以外)は学年相当。文法構造の理解もできている)	
IV 子どもの得意な力を発見できたか(例: 聞いたり、読んだりした内容を理解するのは得意。視覚的な情報の処理は得意)	
V 課題を遂行しているときの子どもの様子について把握できたか(例: 作文中は、何度も消したり書いたりを繰り返す)	
VI 子どもがつまづいている要因を推定できたか(例: 表現(話すことも含めて)が苦手。やや記憶の問題がありそう)	
VII どの部分で支援を必要としているかを把握できたか(文字の想起が困難なので、その部分への支援は必要そう)	
VIII 子ども本人のニーズを把握しているか(例: 「長い作文が書けるようになりたい!」)	
IX 家族のニーズを把握しているか(例: 作文が嫌い。最近ますます苦手意識が強くなってきたので心配。何とかしたい!)	

個別の指導計画作成に関するセルフチェックリスト

「目標の設定」

チェック項目		チェック
I 目標の優先順位は決めたか(例:作文に取り組む前に、まずは、話す能力へアプローチするのが先かな)		
II 基本的なつまづきからアプローチできているか(例:まずは、話す能力が備わってから、書いて表現する方へ進もう)		
III 他の領域や課題への影響を考慮したか(例:ともに表現領域である話すこと、書くこと、両方を関連させながら取り組もう)		
IV 次につながるような目標を設定できたか(例:話して表現でき、次にその内容を書いて表現できるようにできればいいな)		
V 日常生活・社会自立といったことを考慮したか(例:自分の思っていることを正確に伝える手段をもつことは大切だ)		
VI 子ども本人のニーズを考慮したか(例:確か、本人も長い作文が書けるようになりたいと言っていたな)		
VII 家族のニーズを考慮したか(例:保護者が心配していた本人の苦手意識をこの指導を通じて軽減できたらいいな)		
VIII 立てた目標について他の人の意見を聞いたか(例:本人や保護者、ITで入っている〇〇先生とも話し合ってみよう)		

個別の指導計画作成に関するセルフチェックリスト

「指導計画の作成」

チェック項目	チェック
I 子ども主体の目標になっているか(例:「〇〇さんが…できる」→〇、「〇〇さんに…させたい」→×)	
II 肯定的な目標になっているか(例:「…できる」→〇、「…しない」→×)	
III 目標が一つにしばられているか(例:「計算できる」→〇、「計算でき、計算の仕方を発表することもできる」→×)	
IV 観察および評価(○×)できるような目標になっているか(例:「いつ」「どこで」…の要素が全て入っていたら〇にしよう)	
V 条件が示されているか(例:「小グループでの話し合いの時、…できる」「具体物を用いた時、…できる」)	
VI 基準が示されているか(例:「すべて」「8割」「1日1度」「15分間」等)	
VII 子ども強い力を利用できているか(例:本人の得意な視覚的な支援として、絵や写真をみながら話せるようにしよう)	
VIII 課題の順序は適切か(例:話して表現できるようにしたら、書く(作文)の指導に移ろう)	
IX 手だての量は適切か(例:絵や写真だけでなく、「いつ」「どこで」…の枠がある紙を用意する必要がありそうだ)	
X 必要に応じて、計画の見直しや修正はおこなったか(例:記憶への補償のアップロードも入れる必要があるな)	

個別の指導計画作成に関するセルフチェックリスト

「指導の展開」

チェック項目		チェック
I 集中時間の配慮はできているか(例:15分ごとに少し休憩を入れよう。授業の最初に重要な課題をもってこよう)		
II 無理のない課題配分になっているか(例:前回はしっかりふり返りができなかったから、少しプリントを減らそう)		
III 抵抗感、二次的障害への配慮はできているか(例:まずは、得意な計算プリントからやってみよう)		
IV 動機づけを高めるような工夫はなされているか(例:書いた作文を最終的には世界に一つしかない本にしよう)		
V 有能感、達成感を味わえる工夫はなされているか(例:作文が毎回だけ上手になっていくか具体的に伝えるようにしよう)		
VI 課題の正誤のチェック(記録・評価)はできたか(例:正誤チェックが可能な課題については、チェックしよう)		
VII 達成水準のチェック(記録・評価)はしたか(例:どれくらい向上したか、達成水準をなただけ具体的に記録しよう)		
VIII 誤答の特徴のチェック(記録・評価)はしたか(例:「作文では、いつも句読点が一つもはいらぬい」)		
IX 課題の順序が適切だったかのチェックはしたか(例:集中の良い前半が作文でよかった。「書く」以前に「話す」を扱うべきだ)		
X 手だての内容・量のチェックはしたか(例:絵や写真等視覚的な支援は有効だった。スピーチのメモはもう必要ないだろう)		
XI 指導前の仮説と整合性はあったか(例:視覚的な支援、記憶面への支援を行うことで、話す内容がまとまってきた)		

個別の指導計画作成に関するセルフチェックリスト

「総合評価」

チェック項目	チェック
I 目標や達成度を適切に評価できているか(例:授業中、原稿用紙1枚以上の作文が書けたので、目標達成!)	
II 指導内容や方法の評価はおこなったか(例:視覚的な支援は有効であったが、記憶面については支援が十分ではなかった)	
III 来学期・次年度の計画を作成したか(ビジョンはあるか)(例:記憶面へ配慮しながら、表現能力の向上につなげたい)	
IV 保護者への報告・説明をおこなったか(例:個別の指導計画を渡す際、報告と説明をした。家庭での状況も把握できた)	

【 学習領域スキル別つまづきチェックリストー国語ー 】

< I . 聞 >		
チェック		
	1. 音韻認識（音として捉える段階）に問題がみられる	チェック
→	a. 聞き間違いがある（例：花を穴、箱をはんこと聞き間違える）	
	b. 特定の聞き取りにくい音がある（例：子音の中でもサ行が聞き取りにくい）	
	c. 新しいことばを、なかなか覚えられない（例：固有名詞などがなかなか覚えられない）	
	2. 意味理解に困難がみられる	
→	a. 指示内容についての理解が困難なため、指示に従うことができない	
	b. 話を通じにくいことがある	
	c. 簡単な内容や質問でも、誤って理解することがある	
	d. 様態や程度を表すことばの理解ができない（例：形容詞や副詞の理解が難しい）	
	e. 同じことを表しているが、表現の仕方が違う文の理解ができない （例：「犬が猫をおいかける」↔「猫が犬に追いかける」）	
	f. ことばの背後に隠された意味を捉えることができない （例：鉛筆を忘れた人が言う「鉛筆を持っていますか？」は「鉛筆を貸して下さい」といった意味がわからない）	
	g. 話し合いが難しい	
	3. 注意集中や記憶に困難がみられる	
→	a. ちょっとした雑音でも、注意がそれやすい	
	b. 相手の話を聞いていないと感じられることがある	
	c. 話を最後まで聞くことができない	
	d. 聞きもらしがある	
	e. 聞いたことをすぐに忘れる	
	f. 指示を聞き返すことがある	
< II . 話す >		
チェック		
	4. 構音（音を作る段階）に問題がみられる	チェック
→	a. 発音しにくい音がある（例：「 <u>し</u> らない」が「 <u>ち</u> らない」になってしまう）	
	b. 発音しにくいことばがある（例：「や <u>わ</u> らかい」が「や <u>ら</u> わかい」になってしまう）	
	c. 話す際の抑揚が不自然である	
	d. 適切な声の大きさやはやさで話すことができない	
	5. 正確にことば（語彙レベル）を用いることに困難がみられる	
→	a. 的確なことばを見つけられなかったり、ことばにつまったりする	
	b. 使うことばの数が少ない	
	c. あることばを間違った意味において使うことがある	
	d. 「行く↔来る」、「あげる↔もらう」などの混乱がみられる	
	6. 正確に文法を用いることに困難がみられる	
→	a. 主語、述語の文が作れないなど、文法構造の理解ができていない	
	b. 「は」、「を」、「へ」など、助詞を適切に使うことができない	
	7. 会話（文）においてのやりとりに困難がみられる	
→	a. 内容をわかりやすく伝えることができない	
	b. 思いつくままに話すなど、筋道の通った話ができない	
	c. その場に応じた話をすることができない	
	d. 単語の羅列や、短い文など内容的に乏しい（例：「やって」）	

< III. 読む >

チェック		
	8. 一つ一つの文字を読むのに困難がみられる	チェック
↳	a. 平仮名の読み間違いがある	
	b. 片仮名の読み間違いがある	
	c. 拗音を読み間違える	
	d. 習った漢字が読めない →付表「学年別漢字配当表」参照	
	e. 漢字の読み間違いがある (例: 形態的に似た漢字と読み間違える… 貝→「みる」、石→「みぎ」 意味的に関連のある漢字と読み間違える… 町→「むら」、入る→「でる」 単漢字を勝手に熟語化して読み間違える… 人→「にんげん」、牛→「ぎゅうにゅう」 勝手に送りがなを付けて読み間違える… 白→「しろい」、青空→「あおいそら」)	
	9. 単語を読むのに困難がみられる	
↳	a. 文字の順序を読み間違えたり (例: とおまわり→とおわり)、混同したり (例: にぐるま→にじまる) して読む	
	b. 文字を抜かしたり (例: しかい→しか)、余分な文字を加えて (例: せんせい→せんせいい) 読む	
	c. 促音 (例: がっこう→がこう) や拗音 (せんしゅう→せんしょう) などの特殊音節を含んだ単語を読み間違える	
	d. 初めて出てきた単語や、普段あまり使わない単語を読み間違える	
	e. 漢字で表されている単語より、仮名で表されている単語の方が理解しにくい	
	10. 文章を音読する際に困難がみられる	
↳	a. 助詞の「は」を読む際にも変換せずにそのまま「ハ」、「へ」を「へ」など読み間違える (例: 私は (ワタシワ) → (ワタシハ))	
	b. 単語や文節に正しく区切って読むことができない	
	c. 勝手読みがある (例: 「いきました」→「いました」)	
	d. 文中の単語や行をとばしたり、繰り返したりすることがある	
	11. 文章の内容を理解するのに困難がみられる	チェック
↳	a. 文章の内容の大体を読み取ることができない	習得学年
	b. 文章のなかの場面の様子を読み取ることができない	1
	c. 事柄の順序を考えながら読み取ることができない	1
	d. 文章のなかの人物の気持ちを読み取ることができない	1
	e. 文章の要点を読み取ることができない	3

< IV. 書 >

チェック		
	12. 文字を書くのに困難がみられる	チェック
↳	a. 平仮名の書き間違いがある (例: 鏡文字「く」→「>」を書く、形態的に似ている「い」と「り」を間違える)	
	b. 片仮名の書き間違いがある (例: 鏡文字「テ」→「」を書く、形態的に似ている「シ」と「ツ」を間違える)	
	c. 習った漢字が書けない →付表「学年別漢字配当表」参照	
	d. 漢字の書き間違いがある (例: 細かい部分を書き間違える… 「赤」→「赤」 へんをつくりを反対に書く… 「粉」→「粉」 意味的に関連のある漢字と書き誤る… 「入」→「出」)	
	e. 書くときの姿勢や、鉛筆などの用具の使い方がぎこちない	
	f. 字の形や大きさがうまくとれなかったり、まっすぐに書けないなど読みにくい字を書く	
	g. 独特の筆順で書く	
	h. 文字を写すのが難しい (例:黒板に書いてあることを写すのが遅い)	
	13. 単語を正確に表すことに困難がみられる	
↳	a. 文字の順序を書き間違えたり (例: とおわり→とおわり、混同したり (例: にぐるま→にじまる) して書く	
	b. 文字を抜かしたり (例: しかい→しか)、余分な文字を加えて (例: せんせい→せんせいい) 書く	
	c. 促音(例: がっこう→がこう) や、拗音 (例: せんしゅう→せんしょう)、長音 (例: おうさま→おおさま) などの特殊音節を含む単語を間違えて書く	
	14. 文を書く上での基本的な構造の理解に困難がみられる	
↳	a. 主語、述語の文が作れない、順序がおかしいなど文の組み立てが理解できていない	
	b. 「は」、「を」、「へ」など、助詞を適切に使うことができない	
	c. 。、「」など符号を正しく使うことができない	
	15. 文章を書くのに困難がみられる	チェック
↳	a. 思いつくままに書き、筋道の通った文章を書くことができない	習得学年
	b. 事実の羅列のみで内容的に乏しい	1
	c. 限られた量や、決まったパターンの文章しか書かない	1
	d. 修飾と被修飾との関係に注意して書くことができない	3
	e. 指示語や接続語の役割と使い方に注意して書くことができない	3

<付表:学年別漢字配当表>

1年	一右雨円王音下火花貝学気九休玉金空月犬見五口校左三山子四糸字耳七車手十 出女小上森人水正生青夕石赤千川先早草足村大男竹中虫町天田土二日入年白八 百文木本名目立力林六 (80字)
2年	引羽雲園遠何科夏家歌画回会海絵外角楽活間丸岩顔汽記帰弓牛魚京強教近兄形 計元言原戸古午後語工公広交光考行高黄合谷国黒今才細作算止市矢姉思紙寺自 時室社弱首秋週春書少場色食心新親図数西声星晴切雪船線前組走多太体台地池 知茶昼長鳥朝直通弟店点電刀冬当東答頭同道読内南肉馬売買麦半番父風分闢米 歩母方北毎妹万明鳴毛門夜野友用曜来里理話 (160字)
3年	悪安暗医委意育員院飲運泳駅央横屋温化荷界開階寒感漢館岸起期客究急級宮球 去橋業曲局銀区苦具君係軽血決研県庫湖向幸港号根祭皿仕死使始指歯詩次事持 式実写者主守取酒受州拾終習集住重宿所署助昭消商勝乗植中身神真深進世整昔 全相送想息速族他打对待代第題炭短談着注柱丁帳調追定庭笛鉄転都度投豆島湯 登等動童農波配倍箱烟発反坂皮悲美鼻筆氷表秒病品負部服福物平辺勉放味命面 問役薬由油有遊予羊洋葉陽様落流旅両緑礼列練路和 (200字)
4年	愛案以衣位囲胃印英栄塩億加果貨課芽改械害街各覚完官管関観願希季紀喜旗器 機議求泣救給拳漁共協鏡極訓軍郡径型景芸欠結建健験固功好候航康告差菜最材 昨札刷殺察参産散残士氏史司試児治辞失借種周祝順初松笑唱焼象照賞臣信成省 清静席積折節浅戦選然争倉巢束側統卒孫帯隊達単置仲貯兆腸低底停の典伝徒努 灯堂働特得毒熱念敗梅博飯飛費必要標不夫付府副粉兵別辺変便包法望牧末満未 脈民無約勇要養浴利陸良料量輪類令冷例歴連老勞録 (200字)
5年	庄移因永営衛易益液演応往桜恩可仮価河過賀快解格確額刊幹慣眼基寄規技義逆 久旧居許境均禁句群経潔件券険検限現減故個護効厚耕鉦構興講混査再災妻採際 在財罪雑酸賛支志枝師資飼示似識質舎謝授修述術準序招承証条状常情織職制性 政勢精製税責績接設舌絶銭祖素総造像増則測属率損退貸態団断築張提程適敵統 銅導徳独任燃能破犯判版比肥非備俵評貧布婦富武復複仏編弁保墓報豊防買暴務 夢迷綿輸余預容略留領 (185字)
6年	異遺域宇映延沿我灰括革閑割株干卷看簡危机揮貴疑吸供胸郷勤筋系敬警劇激穴 絹権憲源廠己呼誤后孝皇紅降鋼刻穀骨困砂座濟裁策冊蚕至私姿視詞誌磁射捨尺 若樹収宗航衆従縦縮熟純処署諸除将傷障城蒸針仁垂推寸盛聖誠宣専泉洗染善奏 窓創装層操蔵蔵存尊宅担探誕段暖値宙忠著庁頂潮賃痛展討党糖届難乳認納脳派 拝背肺俳班晩否批秘腹奮並陞閉片補暮宝訪亡忘棒枚幕密盟模訳郵優幼欲翌乱卵 覧裏律臨朗論 (181字)

注1) 習得学年とはその項目内容が配当される学年を表している。したがって当該の学年までのチェック項目に対して回答することになる。(例:小学校1年生は習得学年の欄に「1」と記されている項目、3年生は「1」～「3」、6年生以上はすべての項目に対して答える)
なお、習得学年が記されていない項目については全学年対象。
注2) 算数の項目にみられる上付き括弧内の数字(例: ⁽³⁾)は、その内容を習う学年を表している。

【 学習領域スキル別つまづきチェックリストー算数ー 】



＜ I . 数と計算 ＞		
チェック		
	1. 数字（整数）を読んだり、書いたりするのに困難がみられる	チェック 習得学年
→	a. 100までの数の数唱に時間がかかったり、同じ数を二度言ったり、ある数を抜かししたりすることがある	1
	b. 3と8、6と9など、形状が似ている数字の扱いに混乱がみられる	1
	c. 十五を105といったように書き表すことがある	1
	d. 2位数以上になると、四十二を24といったように、位が逆に記されることがある	1
	e. 4位数までの数を読んだり、書き表すことができない	2
	f. 億や兆の単位を読んだり、書き表すことができない	4
	2. 数（整数）の概念の理解に困難がみられる	
→	a. 数唱はできるが、集合数として、ものの個数を正しく数えることができない	1
	b. 規則正しく並べると数えることができても、ばらばらにすると数えることができない	1
	c. 一度数えた数量を、場所や並べ方を変えると、もう一度数え直す	1
	d. ()番目といった順序数についての理解ができない	1
	e. 0についての理解ができない	1
	f. 必要に応じてものを、2ずつ、5ずつ、10ずつといったようにまとめて数えることができない	1
	g. ある数を10倍、100倍したり、10で割ったりしたときの大きさの関係が理解できない	3
	h. 四捨五入の問題ができない	4
	i. 約数、倍数についての理解ができない	3
	3. 数の大小を比較したり、順序通りに並べることに困難がみられる	
→	a. 100までの大小判断がすぐにできない	1
	b. 4位数までの大小判断がすぐにできない	2
	4. 加法・減法の計算に困難がみられる	
→	a. +、－、＝などの記号の意味が理解できない	1
	b. どういうときに加法を用いるか理解できない	1
	c. 加法の計算の際に、集合同士で足さずに1から数え直す	1
	d. 加法の計算の手続きに誤りがみられる（例：2+3=4というように、加数の次の数を機械的に答えとする）	1
	e. 数の合成（2と3を一緒にすれば5）は理解できるが、分解（5は2といくつになるか）が理解できない	1
	f. どういう時に減法を用いるか理解できない	1
	g. 減法の計算の手続きに誤りがみられる	1
	h. 繰り上がりのある加法の手続きが理解できない	1
	i. 繰り下がりのある減法の手続きが理解できない	1
	j. 1位数同士の計算でも30秒以上の時間がかかることがある	1
	k. 1位数同士の計算が暗算でできない	1
	l. 3つ以上の数の含まれる計算（例：10-9+6）ができない	1
	m. 2位数またはそれ以上の数の筆算の表記において、位を揃えることができない	2
	n. 2位数またはそれ以上の数の筆算の手続きに誤りがみられる、 （例：2位数同士の加法の筆算において、計算を左の桁から始めてしまう）	2
	o. 2位数同士の計算でも30秒以上の時間がかかることがある	2
	p. 加法と減法間の関係というように計算相互の関係が理解できない	2

5. 乗法・除法の計算に困難がみられる		チェック	習得学年
→	a. \times 、 \div ⁽³⁾ 、 $=$ などの記号が理解できない		2
	b. どういうときに乗法を用いるか理解できない		2
	c. 乗法の計算の手続きに誤りがみられる		2
	d. 九九が暗唱できない		2
	e. 乗法の筆算の手続きに誤りがみられる (例:2位数同士の乗法の筆算において、右記のように位取りを誤る)		3
	f. どういうときに除法を用いるか理解できない		3
	g. 除法の計算の手続きに誤りがみられる		3
	h. 乗法と除法間の関係というように計算相互の関係が理解できない		3
	i. 除法の筆算の手続きに誤りがみられる (例:商をどこに立てたらよいか分からない)		4
	j. 四則の混合した式 (例: $8 \div 4 + 2 \times 3$) や、() を用いた式 (例: $7 - (3 + 2)$) など、多くの操作を要する計算問題を解くことができない		4
6. 小数・分数を読んだり、書いたりすることに困難がみられる			
→	a. 小数の表記ができない		4
	b. 分数の表記ができない (例:分母と分子を入れ替えてしまうことがある)		4
7. 小数・分数の概念の理解に困難がみられる			
→	a. 小数がどういうものかの理解ができない		4
	b. 小数同士の大小判断ができない (例:0.1より0.09の方が大きいと思っている)		4
	c. 分数がどういうものかの理解ができない		4
	d. 分数同士の大小判断ができない (例:いつでも分母の大きい方が、分数としての値が大きいと思っている)		4
	e. 帯分数を仮分数に直す、あるいはこの逆の操作を行うことができない		4
	f. 分数を小数に、小数を分数に書き直すことができない		5
8. 小数・分数の計算に困難がみられる			
→	a. 小数の加法や減法の計算ができない		4
	b. 同分母の分数の加法や減法の計算ができない		5
	c. 小数の乗法や除法の計算ができない (例:答えの小数点の位置を正しく付けられない)		5
	d. 異分母の分数の加法や減法の計算ができない		6
	e. 分数の乗法や除法の計算ができない		6

< Ⅱ. 量と測定 >

チェック		チェック	習得学年
	9. 時刻や時間の概念の理解に困難がみられる		
→	a. 昨日、今日、明日、早い(前)、遅い(後)というような時間の概念を表すことばの意味が理解できない		1
	b. 時計を見て時刻が読めない		2
	c. 日、週、月、年などの理解ができない		2
	d. 時間(時、分、秒)の計算ができない		3
	10. 量を比べたり、測ったりすることに困難がみられる		
→	a. 長さや重さといった量がどのようなものか理解できない		1
	b. 長さや重さなどの量を比較することができない (直接/間接比較/任意単位による測定を含む)		1
	c. ものさしなどの計器のもつはたらきや目盛りの構造を理解することができない		2
	d. 量を表す基本単位(例: $\text{cm}^{(2)}$ 、 $\text{g}^{(3)}$)について理解できない		2
	e. 単位の換算(例: $15\text{cm} \leftrightarrow 150\text{mm}$)ができない		2
	f. 面積についての単位や、測定の意味が理解できない		4
	g. 面積を求めることができない		4
	h. 角の大きさというものを理解したり、それを測定することができない		4
	i. 体積についての単位や、測定の意味を理解することができない		6
	j. 体積を求めることができない		6
	k. 速さの意味や、表し方について理解できない		6
	l. 速さを求めることができない		6

< Ⅲ. 図形 >

チェック		チェック	習得学年
	11. 図形を理解したり、構成したりすることに困難がみられる		
→	a. 前後、左右、上下など、位置や空間の概念を表すことばの意味が理解できない		1
	b. 形を構成したり、分解したり ⁽²⁾ することができない (例:  は  がいくつでできているかといった問題を解くことができない)		1
	c. 図形を模写することができない		1
	d. 図形の弁別ができない(例: 似たような図形のグループの中から、同一の図形を探し出すことができない)		3
	e. 図形を構成する要素(例: 辺、頂点 ⁽³⁾ 、直径、半径 ⁽⁴⁾)や構成要素間の関係が理解できない		3
	f. 三角定規やコンパスなどの器具を用いて図形を描き出すことができない		4
	g. 立方体や直方体といった立体図形について理解できない(例: 側面がいくつあるかがわからない)		6
	h. 立方体や直方体といった立体図形の見取り図や立面図などを描くことができない		6

< IV. 数量関係 >			
チェック		チェック	習得学年
	12. 文章題を解くのに困難がみられる		
↳	a. 文章題を読んで立式することができない		1
	b. 問題に出てくる算数の用語（例：合わせて、全部で、違い、残り）の意味が理解できない		1
	13. 表やグラフの問題を解くのに困難がみられる		
↳	a. 表やグラフが何を表しているのか、どう読んだらよいかわからない		2
	b. 表やグラフにまとめることができない		2
	14. 割合に関する問題を解くのに困難がみられる		
↳	a. 百分率（パーセント）の意味について理解できない		5
	b. 百分率（パーセント）を用いることができない		5
	15. 比に関する問題を解くのに困難がみられる		
↳	a. a:bといった比の意味について理解できない		6
	b. 等しい比を求めることができない		6
	16. 比例に関する問題を解くのに困難がみられる		
↳	a. 比例の意味が理解できない		6
	b. 比例の関係を表やグラフに表すことができない		6
	17. 平均に関する問題を解くのに困難がみられる		
↳	a. 平均の意味が理解できない		6
	b. 平均を求めることができない		6
< V. その他 >			
チェック			
	18. 見直しをしない		
	19. 算数の用語や記号、公式などがなかなか覚えられない		
	20. 内容や形式、やり方などの変化に応じることが難しい (例：2位数同士の加法の計算はできるが、3位数同士になるとできない)		
	21. 考え方が一貫していない (例：(同じような)問題が出される度に解き方が違い、できたりできなかったりする)		
	22. 因果関係の理解が難しい (例：「健君は鉛筆を何本か持っていました。兄から3本もらったので9本になりました。最初は何本持っていたでしょう」といった逆思考の問題を解くことができない)		
	23. テーマに関してじっくり取り組むことが難しい		
	24. 問題を解く際、ストラテジー（方略）を駆使することが難しい (例：いろいろな形の面積を出す問題で解きやすくするため補助線を引いたりするなど、自分なりに工夫することができない)		
	25. 考えを一般化させるのが難しい (例：応用問題を解くことが難しい)		

I. 聞 く

<つまずきの例>

<要因>

話しことばにおける音の聞き分けが難しい。
聞き間違いがある。
新しいことばをなかなか覚えられない。
聞いたことをすぐに忘れる。

正確に音を聞き取る力
記憶力

指示の理解が難しい。
話が通じにくいことがある。
特に「どうして」「どのように」などの質問の理解が難しい。
話し合いが難しい。

意味を理解する力

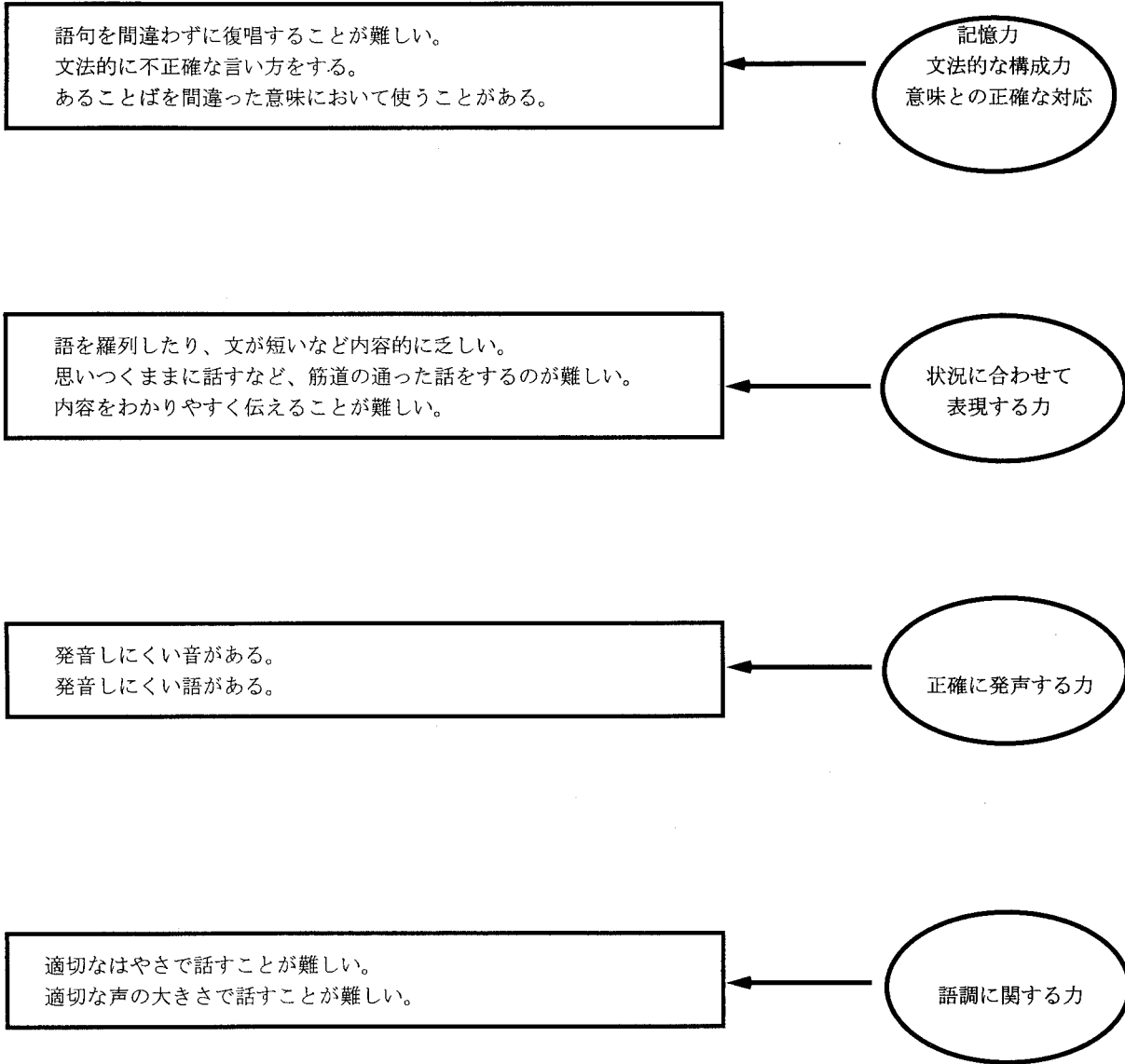
ちょっとした雑音でも注意がそれやすい。
相手の話を聞いていないと感じられることがある。
聞きもらしがある。
近く(個別)で言われれば理解しやすいが、遠く(集団)だとしにくい。

注意を持続する力
記憶力

Ⅱ. 話す

<つまずきの例>

<要因>



Ⅲ. 読む

<つまずきの例>

<要因>

平仮名や片仮名などの文字を読むことが難しい。
文字を抜かしたり、余分な文字を加えて読む。
形態的に似た文字を読み間違える。

文字や語を正しく
認知する力
文字から音を
想起する力

習った漢字が読めない。
形態的に似た漢字と読み間違える。
意味的に関連のある漢字と読み間違える。
黙読が遅い。

記憶力

音読はできても、内容を理解していないことがある。
文章の要点を正しく読みとることが難しい。

理解する力

IV. 書く

<つまずきの例>

<要因>

聴写すると書き誤る。
鏡文字がある。
文字の順序が入れ替わったりする。

文字や語を正しく
認知する力
音から文字を想起
する力

助詞（「は」「を」「へ」など）を適切に使うことが難しい。
思いつまままに書き、筋道の通った文章を書くことが難しい。
決まったパターンの文章しか書かない。

文法的な構成力
状況に合わせて
表現する力

文字を視写することが難しい。
読みにくい字を書く。
書くときの姿勢や、鉛筆等の用具の使い方がぎこちない。

目と手を協応させる力
運動能力

漢字を書く際、上下や左右が入れ替わる。
漢字の細かい部分を書き間違える。

（漢字を）正しく
認知したり、記憶したり
する力

V. 計算する

<つまずきの例>

<要因>

数を正確に書き表すことが難しい。
大小判断がすぐにできない。
十五を「105」、三千四十七を「300047」や「347」と書き誤る。

抽象的な思考力

どういうときに何算を使えばよいかの判断が難しい。
加法と減法、乗法と除法といった計算相互の関係の理解が難しい。
文章題を解くのが難しい。

論理的な思考力

数え足し（引き）のように計算をし、集合数同士で計算をしない。
簡単な計算が暗算でできない。

頭の中で数を
操作する力

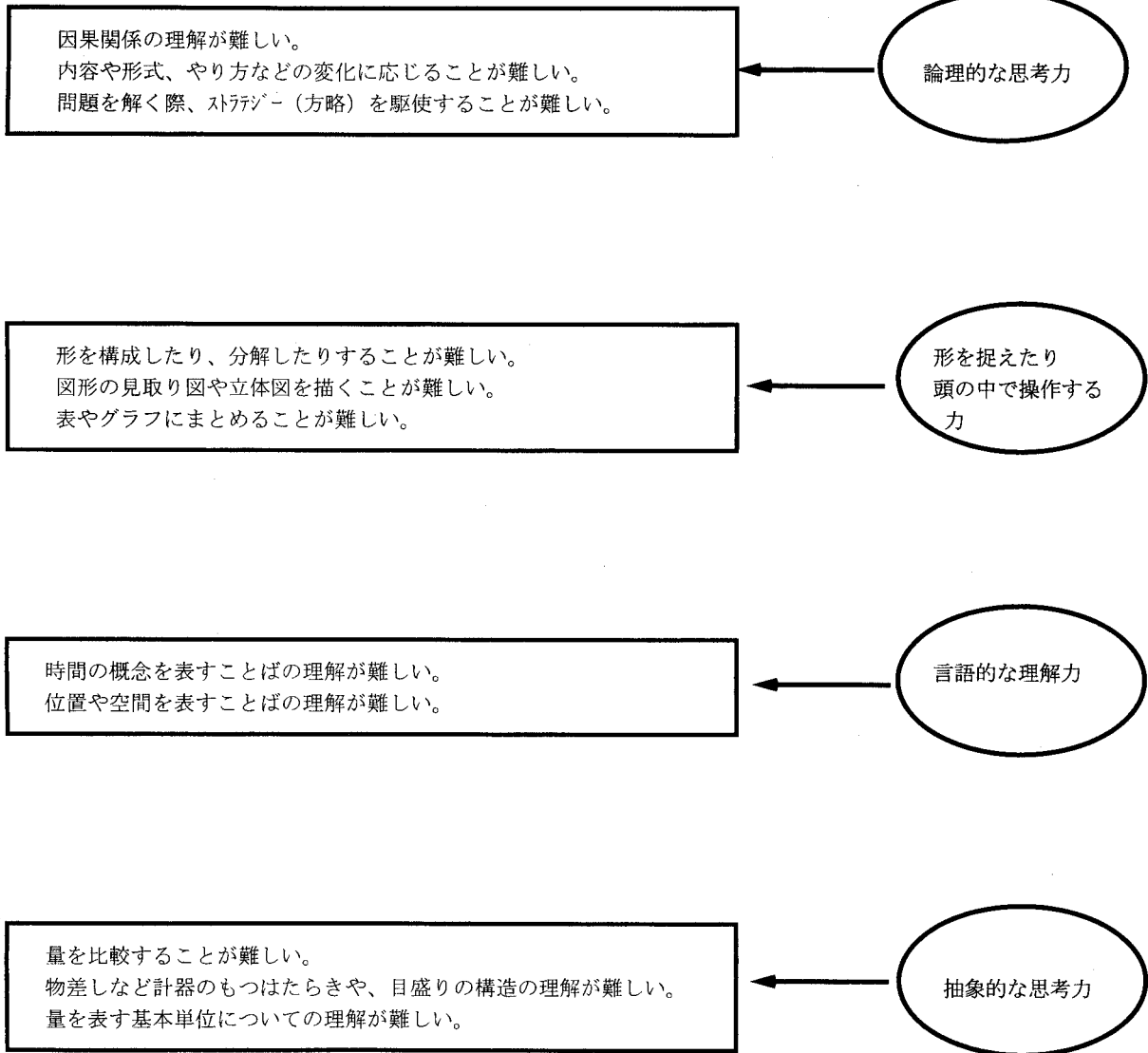
繰り上がりや、繰り下がりのある計算が難しい。
九九が暗唱できない。
自分勝手なルールで計算を行うことがある。

記憶力

VI. 推論する

<つまずきの例>

<要因>



個別の指導計画

氏名	生年月日 記載時	年 年	月 月	日 日	(歳) (記載者)	カ月 学年)	指導形態 指導領域	週 / 月 / 日 () 曜日: 聞く / 話す / 読む / 書く / 計算する / 推論する / 行動 社会性	個別 / 集団 / 個人
----	-------------	-----	-----	-----	------------------	---------	--------------	--	--------------

長期目標	設定日	評価日	評価	価値
①				
②				
③				

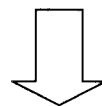
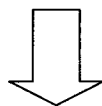
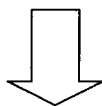
対する長期目標	当期 (/ ~ /) の短期目標と手だて	評価	価値	対する長期目標	来期 (/ ~ /) の短期目標と手だて
	目標 手だて	() ()			目標 手だて
	目標 手だて	() ()			目標 手だて
	目標 手だて	() ()			目標 手だて

個別の指導計画

資料④-2 平成 年度

対象児	年 組 (名前)	記載日	平成 年 月 日 ~ 日 月 日	記載者
-----	----------	-----	------------------	-----

単元名	本児の目標	目標設定の理由 (本児の実態)	目標に ついての 評価
教科全体			
国語			
算数			
社			
理			
音			
図			
体			
家			
生活面			
家庭			



具体的な手だて	手だて への 評価
教科全体	
国	
算	
社	
理	
音	
図	
体	
他の教科	
生活面	
家庭	

設定日	長期目標（年間目標）	（評価予定日） 評価日	評価

個別の指導計画

対象児	年 組 (名前)	記載日	年 月 日 ~ 年 月 日	記載者		
国	単元名	本児の目標	目標設定の理由 (本児の実態)	目標に ついての 評価	具体的な手だて	手だて への 評価
数						
英						
社						
理						
音						
美						
体						
生活 面						
家庭					家庭	

設定日	長期目標 (年間目標)	(評価予定日) 評価日	評価

資料⑤-1

子どもの名前		記載日	年	月	日	記載者
<長期目標>			(年	月	～ 年 月 予定)
<短期目標>			(月	日	～ 月 日 予定)
短期目標	具体的な課題 (手だて)	達成度	習得している部分(+)	未習得の部分, 誤りの特徴 (-)	その他, 特記事項	

作文の評価

1. テーマは 教師が選んだものか？() 子どもが選んだものか？()
2. テーマについての子ども側の要因 低い 高い
- | | | | | |
|-------|---|---|---|---|
| 事前の知識 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 関心 | 1 | 2 | 3 | 4 |
3. 子どもはどのことに時間を費やしたか？
- | | |
|------------------------|----------------|
| テーマを考えることに() | 教室の外での調査に() |
| テーマは決まったが、内容を考えることに() | 文法的な構造に() |
| 文字の想起に() | 内容について話すことに() |
| 観察できなかった() | |
4. どのような手段で行ったか？それについての能力は？
- | | | | | |
|--------|---------|-------|---|---|
| 手書き() | ワープロ() | 口頭() | | |
| | 低い | 高い | | |
| 流暢さ | 1 | 2 | 3 | 4 |
5. どれくらい支援を求めたか？
- | | | | | |
|--|--------|------|---|---|
| | めったにない | しばしば | | |
| | 1 | 2 | 3 | 4 |
6. どれくらい頻繁にストップして、再読したか？
- | | | | | |
|--|---|---|---|---|
| | 1 | 2 | 3 | 4 |
|--|---|---|---|---|
7. 再読することで変化が生じたか？
- | | | | | |
|--|---|---|---|---|
| | 1 | 2 | 3 | 4 |
|--|---|---|---|---|
8. 変化したのは(最初の原稿から最後の原稿の間で)
- | | |
|-----------------|--------------|
| 文字や語を正しく書くこと() | 文法の正確さ() |
| 語い() | 形容詞や副詞の付加() |
| 段落の移動() | 題名() |
| 細かい文(詳細さ)の付加() | 文体の調整() |
| その他() | |
9. 全体的な評価 低い 高い
- | | | | |
|------------------|---|---|---|
| 主要とするテーマと関連している | 1 | 2 | 3 |
| 論理的である | 1 | 2 | 3 |
| 伝えたい内容が明瞭に書かれている | 1 | 2 | 3 |
10. 子どもは自分で最終的な作品を誰と共有したか？
- | | |
|-------------------------|--------------------|
| クラスで読み上げた() | 小さなグループの前で読み上げた() |
| 印刷した(クラスの出版物, 学校新聞等)() | 教師に読み上げた() |
| 保護者に読み上げた() | 誰も共有していない() |